

## バート・メルゲントハイム市から



目録パネルを前に記念撮影する荻野市長と今村事務局長（右から2人目）と関係者一同＝6月3日、日本赤十字社山梨県支部

## ご寄付いただきました

笛吹市との国際友好都市であるドイツのバート・メルゲントハイム市より、寄付金7041.06ユーロ（約80万円）をいただきました。

同市とは平成3年5月26日に旧石和町が友好交流協定書に調印を行い、互いに盛んに訪問するなどし、笛吹市になって以降も継続して交流が行われています。今回の寄付は、東日本大震災の被災された方々に対するお見舞いの気持ちからなされました。なお、この寄付金は、日本赤十字社山梨県支部を通して、義援金として被災地へ送られます。

※1ユーロ 113.7円で換算

## ふえふきリニアまつり実行委員会より

5月21日に開催されました「ふえふきリニアまつり」において、東日本大震災チャリティーイベントを実施し、多くの市民の皆様から温かいご支援をいただきましたので、ご報告いたします。

なお、募金については、本市に避難されている方々への「支援金」に充てさせていただきます。

▼ふえふきリニアまつり募金総額 100,113円

■問合せ先 経営企画課 ☎055(262)4111(代)

## 義援金、支援金をありがとうございます

▼義援金(5月30日現在) 8,601,745円

※義援金につきましては、日赤等を通じ被災地へ届けさせていただきます。

▼支援金(5月30日現在) 2,237,230円

※支援金につきましては、避難してきている方の支援にかかる経費(物資購入、生活援助等)に充てさせていただきます。

今後につきましても、市民の皆様からの温かいご支援をお願いします。

■問合せ先 福祉総務課(石和保健福祉センター内) ☎055(262)1271

## 南相馬市民の方々を温泉旅館・ホテルに招く

5月30日、心身がリフレッシュされ、復興のエネルギーを蓄えていただくことを目的に、福島県南相馬市内の避難所に避難されている方々を、4泊5日の間、市内の温泉旅館・ホテルにお招きしました。

当日は、南相馬市内の各避難所から、115名の参加者が市内の旅館・ホテル4カ所にそれぞれ到着し、荻野市長らの歓迎を受けました。宿泊に先立ち、荻野市長は長旅の疲れをねぎらった上で「少しでも気分転換して復興をがんばっていただきたい。滞在中は自分流に楽しんでください」と話しました。

なお、6月6日には第2便として275名の方をお招きしました。



宿泊地に到着した参加者を出迎える荻野市長

# 被災者の方々へ 医療機関を受診する方法が変わります

平成 23 年 7 月 1 日から医療機関の窓口での取扱いが下記のように変わります。

## 1. 医療機関において、保険診療を受ける際には、窓口での保険証（被保険者証）の提示が必要になります。

現在、震災に伴い、被保険者証等を紛失したこと等により、窓口で提示できなくても、氏名、生年月日等を申し出ることにより、保険診療を受けられる取扱いとなっていますが、平成 23 年 7 月 1 日からは、保険診療を受ける際には、被保険者証等の提示が必要になります。

## 2. 医療機関を受診した際に窓口負担が免除となるためには、一部負担金等の免除証明書の提示が必要となります。

現在、窓口で以下に該当することを申し出たことにより、窓口負担が免除されている方について、平成 23 年 7 月 1 日からは、ご加入の医療保険の保険者が発行する一部負担金等の免除証明書の提示が必要となります。

- (1) 災害救助法の適用地域（東京都を除く）や被災者生活再建支援法の適用地域の住民（地震の発生以後、他市町村へ転出した方を含む）であり、
- (2) 次のいずれかに該当する方 ①住家の全半壊、全半焼、またはこれに準ずる被災をした方  
②主たる生計維持者が死亡し、または重篤な傷病を負った方 ③主たる生計維持者の行方が不明である方  
④主たる生計維持者が業務を廃止・休止した方 ⑤主たる生計維持者が失職し、現在収入がない方  
⑥原発の事故に伴い、政府の避難指示、計画的避難区域及び緊急時避難準備区域に関する指示の対象となっている方

※ ただし、被災により免除証明書の交付が困難な一部の市町村の国保、または後期高齢者医療制度の加入者については、当分の間、免除証明書は必要ありません。 原発の事故に伴い、政府の屋内退避指示の対象となっていた方の窓口負担の免除は、6 月末までに受けた診療等分までとなります。

## ご加入の医療保険の保険者への被保険者証や免除証明書の申請を忘れずに

詳しくは、ご加入の医療保険の保険者、または国民健康保険課（☎055（262）4111（代））にお問い合わせください。

## 節電にご協力を

夏の電力需要のピークは暑さの厳しい昼間の時間帯です。ピーク時間の電力消費の内訳は、エアコンが約1/2を占めます。節電するための工夫には、エアコンの設定温度を28℃にする、「すだれ」や「よしず」などを活用する、無理のない範囲でエアコンを消して扇風機を使用することなどがあります。なお、エアコンの控えすぎによる熱中症などに注意しながら無理のない範囲で節電することも大切です。

## 避難者の声を伺いました

5 月 29 日、八代定住促進住宅・集会室（八代町米倉）にて福島県から市内に避難している方々から話を聞くことができました。今回、話を伺ったのは福島県から市内に避難した 5 名の方々と、一様に地元に戻る見通しが立たないことや今後の就労への不安などが語られました。

また、現在の避難生活については、それぞれ

「現在、様々な支援を受けていますが、避難生活が長期化してくると、優遇されている面を指摘されるのではないかと心配しています」

「笛吹市の方に様々な催しに声をかけていただいて、毎回は出席することはできませんが、ありがたく思っています」

「山梨の方とコミュニケーションをとることは大事だと考えます」等の話を伺いました。

市営住宅・民家等への避難者状況（6 月 6 日現在）

石和町	25 世帯	69 人	御坂町	2 世帯	5 人	一宮町	1 世帯	4 人
八代町	7 世帯	25 人	境川町	2 世帯	4 人	春日居町	20 世帯	72 人
合計 57 世帯 179 人（主に福島県南相馬市、いわき市、双葉郡内などの方を受け入れています）								

■問合せ先 市災害支援対策本部 ☎055（262）5211（直通）

●発行/2011.6.10 山梨県笛吹市役所 ●編集/経営企画課・広聴広報担当

●所在地/〒406-8510 笛吹市石和町市部 7 7 7 番地 TEL 055-262-4111

●URL/<http://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/>